

全員協議会 会議録（要点筆記）

令和4年1月21日
午前10時00分 開会
午前10時25分 閉会
場所： 全員協議会室

【上程議案の補足説明】

1.新型コロナウイルスワクチン3回目接種の更なる前倒しに係る集団接種会場の追加開設
に

ついて（専決処分の承認（補正予算第11号関係））

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明

質疑なし

2.子育て応援臨時特別給付金の支給について

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明

中川健一議員：この事業は、自治事務ですか、法定受託事務ですか。

竹部益世健康子ども部長：今回の支給につきましては、市の事務です。（自治事務）

中川健一議員：知多半島内の他市の実施状況と県内他市の状況はどうなっていますか。

竹部益世健康子ども部長：知多半島4市は実施の方向との情報を得ています。県内他市は把握しておりません。

中川健一議員：世帯年収950万円以上の世帯に給付するとのことですが、（今回の支給対象は）生活に困窮している世帯ではないと思われる中で、国会でも議論されていましたが、基準日等の関係で、受給できなかったひとり親家庭などへの手当は半田市では十分対応できていますか。

竹部益世健康子ども部長：今回市で実施する追加交付の対象は所得制限を超えて支給対象とならなかった世帯です。議員のご質問の世帯は今回の対象とはしていません。今後、国から基準等が示されると思います。その時点での対応となります。

中川健一議員：そういった世帯は放置するということですね。また、生活保護世帯一步手前の世帯や今回のオミクロン株の感染拡大により飲食店等が営業時間の短縮などを受けて、（店の）オーナーは給付金等がありますが、そういったお店で非正規雇用で働いている人たちが一番困っていると思います。そういった方たちへの対応はどうなっていますか。優先順位の問題として、まずはそういったところに手当すべきではないかと思いますがいかがでしょう。

新村隆福祉部長：1月11日の臨時議会で議決をいただきました住民税非課税世帯の臨時特別給付金、これは対象1世帯あたりに10万円を給付するものですが、生活に困窮する世帯、収入減となった世帯に対する給付金となっています。ですので、（中川議員が言われる）生活に困窮する、新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入がかなり減っている世帯に支援ができていると考えていただければ良いと思います。それに、さらに上乘せとして、今回の子育て応援臨時給付金があるのご理解いただければと思います。

中川健一議員：そういった、きれいな理屈を質問しているのではなく、実際年収 9 5 0 万円あればその人たちが日々の生活に困っているわけではなく、今回の 1 0 万円の給付のあるなしが（その家族の）日常生活に大きく影響するものではありません。年収 3 0 0 万円以下の世帯やひとり親の世帯などが 1 0 万円の給付を受けたとしても貯蓄が多くないことが予想されますし、豊かな暮らしをされているとは想定しづらいです。そういった世帯は半田市に少なからずいる、と考えられる中で、そちらの支援を行わずに年収 9 5 0 万円以上の（国の給付条件の対象外となった）世帯を優先するのが理解できません。説明してください。

竹部益世健康子ども部長：今回の議案の目的は、新型コロナウイルスが長期化しその影響はさまざまな人に及んでいる中で、わが国の子どもたちを力強く支援する。未来を描く観点からの支援であるとして補正予算を計上させていただきました。

中川健一議員：最後に質問します。その人たち（今回の給付対象）は何が困っていて支援が必要なのでしょうか。

竹部益世健康子ども部長：新型コロナウイルス感染症は 2 年に及び、その影響はさまざまであり、「これが」と確定できないのが現実です。そういった中で子どもたちを支えるという目的で実施したいとするものです。

3. 訴えの提起について（差押債権取立請求事件）

坂元照幸総務部長：資料に基づき説明

質疑無し

午前 1 0 時 2 5 分 閉会